

## J2101A インジェクション・トランス 10Hz-45MHz



- ・ 10Hz; オフライン電源をサポート
- ・ 45MHz; 最先端のレギュレータにも対応可能
- ・ 23 オクターブレンジ(広帯域)
- ・ 高精度、低歪み
- ・ 5Ω ターミネーション(ループへの影響最小)
- ・ 小信号測定用のアッテネータ機能

### 製品概要

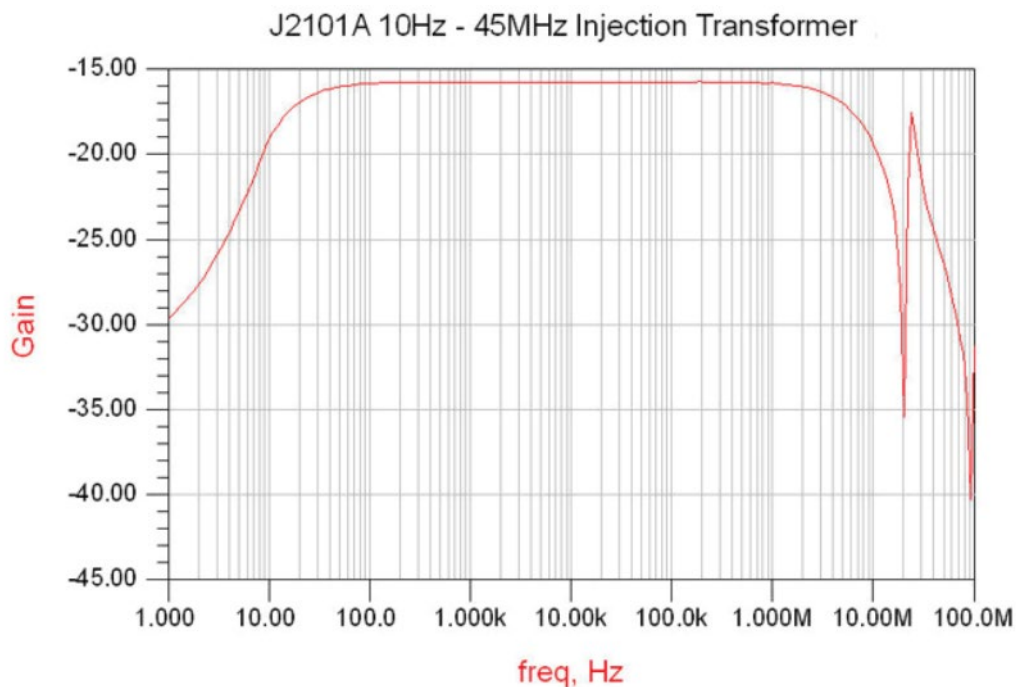
インジェクション・トランスの使用は、ネットワーク・アナライザを被測定回路に接続するための一般的な方法であり、主に制御ループの安定性測定に使用されます。

その目的は、ループの特性に影響を与えることなく測定対象の制御ループに信号を注入することです。この為に、このトランスは高電圧に対しても絶縁されていて、力率改善回路(PFC)のような400V(DC)の高電圧でもフローティング可能です。尚、FRA 入力の電圧定格を超える電圧を測定するには、減衰プローブが必要です。

インジェクショントランスの使用可能な帯域幅は、一般的に 3dB の周波数帯域よりも大幅に大きくなっています。変圧器自体は測定対象外のため、重要ではない要素であると多くの人が誤って信じていますが、それは間違いです。広帯域、高性能のトランスは安定性の測定には欠かせません。

トランスの帯域幅は、終端インピーダンスに強く関係しています。多くのネットワーク アナライザは、50 オームの信号出力インピーダンスです。このインピーダンスを仮定すると、最適な終端抵抗は 5 オームです。これは注入信号を大幅に減衰させますが、これが大変役立ちます。なぜなら、Bode 線図測定の一般的なエラーは、大きすぎる信号により引き起こされるためです。この

低い値の更なる利点は、被測定回路の出力電圧に大きな影響を与えることなく、ネットワーク・アナライザへの接続を簡素化できることです。



## 仕様

仕様(-10dBm 入力)	
特性	定格
DCR	
Ratio	1 ; 1
終端インピーダンス	5Ω
使用可能周波数帯域	10Hz-45MHz (5Ω終端)
	60Hz-45MHz (50Ω終端)
アイソレーション電圧	600V
アイソレーション容量	150pF@1KHz
DC電流	10mA
温度範囲	0~50°C
最大高度	6000フィート

注; 上側の周波数帯域は、インジェクターと DUT の接続に依存します。